

# MUSEUM

of contemporary art tokyo

東京都現代美術館

==== GENKYO 横尾忠則 ====

横尾忠則氏は日本を代表する美術家(画家)で、ご存じの方も多いと思います。数あるモチーフのひとつ「Y字路」はその代表的なものですが、これを知ったきっかけは実は写真専門雑誌であり、フィルム写真に熱中していた20年前にさかのぼります。

横尾氏自ら撮影した実在のY字路が特集として掲載されており、直感的にととても惹かれるものを感じていましたが、何がそうさせるのか、当時はよく分からなかったように思います。その後、氏は主要な創作モチーフとして多くのY字路を絵画作品として残していくのですが、今回は実物の作品を初めて生で鑑賞する機会を得たのでお伝えしてみます。



場所は東京都現代美術館、運河のある下町の景色に溶け込んだおしゃれな建物です。撮影禁止ですので購入した図録を掲載していますが、実物は奥行きのある大空間の中、数メートル四方の特大キャンバスに描かれているので、あたかも現実のY字路と対峙しているようなリアリティがあります。主催者側の演出のひとつかもしれません。そしてどの作品にも共通す

るのですが、なぜか不思議な既視感を覚えるとともに、左右の路地の先には何が待っているのか？ どちらの道を選ぶべきなのか？ 路地に吸い込まれそうになりながら、そんなことを考えていました。紙面ではなかなか伝わらないと思いますし、個人の感性の問題と片付けられてしまいそうですが、20年目の邂逅、それはかつての漠然とした直感が実体験として顕になった瞬間でした。あたかも人生の岐路に立たされているかのような問いかけに、人は足を止め、この絵に惹きつけられる…。これが「Y字路」の力なのだと思います。



前頁

TとRの交差 Convergence of T and R 2002

本頁

経験的現象 Empirical Phenomenon 2002

MOT

※無断掲載ですが、横尾作品の紹介のための引用であり、商用の意図はありません。

いつもながら美術館のレストランにハズレはありません。  
＼ 鴨のロースト ＼



青い鳥 こどもクリニック  
引田 満